

仏様の笑顔

岡山県 まんぶくじ 万福寺住職 おきな 翁 たい せん 泰仙

今朝は仏様の笑顔というお話です。

以前、お檀家のおばあさんがこんな話をされました。

おばあさんは、五十代のある年に胃癌と診断され、手術を受けたそうです。

告知を受けた直後は、頭の中が真っ白になり、しばらく放心状態でした。

入院してしばらくたち、若い看護師さんが、自分の担当となりました。その看護師さんは元気な声と、にこにこした笑顔が印象的でした。

しかし、気が滅入っていたおばあさんには、この元気な声と笑顔は、腹立たしさ以外の何物でもなく、どんなにいたわりの言葉をかけられても、素直になれず、むしろ疎ましく思えてなりませんでした。

そんなある日、おばあさんは、その若い看護師さんに「あなたはなぜいつもそんなに元気で、ニコニコしているの、悩みや辛いことはないの？」と問いかけてみました。すると看護師さんは「元気で笑ってさえいれば嬉しくて前向きになれるんです。」と答えたそうです。

それ以来おばあさんは、その看護師さんとすこしずつ会話を交わすようになり、気がつけば、沈みきっていた心が晴れわたっていくのを感じるようになっていったそうです。

そして、手術当日も、その看護師さんは、「頑張って、絶対に大丈夫だから」と満面の笑みと大きなガッツポーズで、送り出してくれたそうです。

この時おばあさんは、すっかり落ち着いた気持ちになり、すべてを仏様にお任せする心境で手術室に入れたと言います。

手術から三十数年、おばあさん生かされている有難さを感じながら、今も辛いことがあるたびに、あの看護師さんの仏様のような笑顔を思い浮かべるそうです。